



ルーセントカップ 中本・篠原ペア 見事優勝!!

1月18日(日)に第48回ルーセントカップ全日本社会人・学生対抗インドアソフトテニス大会が、愛知県名古屋市日本ガイシホールで開催された。男子は4選手が出場し、そのうち対抗戦を勝ち抜き優勝トーナメントに進んだ村上・柴田ペアは第3位、中本・篠原ペアは見事優勝に輝いた。女子は佐々木・大庭ペアが出場し、準優勝となった。今年も選手達の活躍に期待したい。



日本ハンドボールリーグ 残り試合に弾み

第39回日本リーグ第9週は、北国戦、オムロン戦と2連敗を喫した広島メイプルレッズだが、第10週1月17日(土)には三重バイオレットアイリスをホームで迎え、30-17と点差をつけ勝利。翌週第11週も飛騨高山に29-10で圧勝。再び勢いを取り戻し、現在の順位は3位。上位4チームが出場できるプレーオフ、残りのリーグ戦(6試合)にむけて良い弾みをつけることができた。

また、第66回全日本総合選手権(12月24日(水)~12月28日(日)愛知県開催)では、準決勝で北国銀行に敗れ、3位だった。この大会では、アジア大会日本チームの最多得点を奪った高山智恵選手がベストセブンに選ばれた。



現在、得点王ランキング・フィールド得点ランキング1位の高山智恵選手(左)とフィールド得点ランキング2位の松村杏里選手(右)

Do スポーツ 小学校訪問

シーズンの真最中で広島市教育委員会と共催のDoスポーツ指導者招へい事業として、1月19日(月)湯来南小学校と1月20日(火)五日市小学校に赴き、小学生にハンドボールの体験授業を行った。児童から元気なパワーをもらい、プレーオフ優勝に向けて躍進してくれることだろう。

各チームの1推し選手を紹介します。

☆選手紹介コーナー☆



中国電力陸上競技部 山崎亮平選手

生年月日 1989年11月24日
身長 174cm
血液型
出身地 鳥取県

担当者からのコメント

チーム一番のスピードを持ち、これからの中国電力陸上競技部を支える可能性を持つ選手



ワクナガレオリック 全日本総合選手権初戦敗

12月24日(水)から28日(日)に全日本総合選手権が愛知県名古屋市の愛知県体育館、枇杷島スポーツセンターでおこなわれた。ワクナガレオリックは、大会3日目の第2試合に琉球コラソンと対戦した。前半は、先制されるも、11番樋口選手、2番谷村選手のシュートで、すかさず同点に追いつく。しかし、琉球コラソンが流れをつかみ、前半は12対14で琉球コラソンのリードで折り返す。後半は、琉球コラソンの選手が2分間の退場となるチャンスだったがものにできなかった。そして、その後5連続得点を決められ、32対25で敗れ、初戦敗退となった。2月11日(水)の大崎電気戦から日本リーグが再開する。現在4位のワクナガレオリックだが、これからの巻き返しに期待したい。



ロゴマークの意味

広島県の木、広島県の花として県民になじみの深いモミジをモチーフにしました。「新緑のモミジ」はジュニアスポーツの育成を、「紅葉のモミジ」は選手が成長していく姿を表現しています。ジュニア選手がトップを目標とすることを期待し、広島県のスポーツのジャンプアップを図ることを意味しています。



加盟
団体



サンフレッチェ広島



JTサンダーズ



ワクナガレオリック



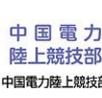
広島メイプルレッズ



広島ガスバドミントン部



NTT西日本広島ソフトテニスクラブ



中国電力陸上競技部



コココーラウエストレッドスパークス



広島東洋カープ

トップス広島 事務局
〒733-0036
広島市西区観音新町4-10-2

TEL:082-233-3233
FAX:082-233-3251
URL:www.tops-h.net/

このQRコードから
公式Webサイトへ
アクセスできます。



ホームの大声援を背に リーグ戦 FC 東京との第 2Leg 第 2 戦

リーグ戦好調な JT サンダーズは1月11日(日)に広島県立総合体育館で FC 東京と対戦した。

第1セット、選手たちは立ち上がりから落ち着いた試合運びを見せる。セット中盤、12-9とした場面から連続4失点を喫し、相手を追いかける展開となるが、堅守から立て直し一進一退の攻防に持ち込む。そして、セット終盤の17-18の場面から町野選手のブロックと越川選手のレフト攻撃で再度逆転。その後は相手のミスにも助けられるなどしてリードを守りきり、25-23で第1セットを先取る。

第2セットに入ると、試合はJTサンダーズのペースに。立ち上がりから得点を積み上げると、セット中盤にかけても越川選手とヴィソット選手を中心に攻め立て、16-9とリードを拡大。互いに得点を重ねた19-15の場面からは、ヴィソット選手のレフトスパイクとブロック、八子選手の豪快なバックアタックなどで一気にたたみかけ、一挙6得点。最後は相手にミスが出て、25-15の大差で第2セットも連取する。

ところが第3セットに入ると、多彩な攻撃を展開するも、自らのミスで流れをつかみきれず、接戦を抜け出すことができない。11-11の場面から連続3得点を挙げ、14-11と抜け出したかに見えたが、直後に連続4失点を許すなど、抜きつ抜かれつの展開はセット終盤まで続いていく。先にセットポイントを奪ったのは、JTサンダーズ。



得点を奪い、円陣を組み喜び選手たち

21-22の場面からヴィソット選手のバックアタックと相手のミスなどで24-22とするが、粘る相手にスパイクとブロックを決められて24-24。勝負をジュースに持ち込まれると、ヴィソット選手のバックアタックで1点は返すが、その後が続かず、25-27。第3セットを落としてしまう。

勝負を決めたい第4セット。序盤から持ち前のサーブ&ブロックが機能し、ヴィソット選手や安永選手の力強いサーブで主導権を奪い、8-5とリード。その後も要所で連続得点を重ね、点差を保ったまま試合を進めていく。5点差をつけてセット終盤を迎えると、相手の追い上げをしのぎ切り、25-20。セットカウント3-1で勝利し、地元ファンの大声援に応えた。この勢いそのまま、次のJTサンダーズの試合にも期待したい。



レッドスパークス Do スポーツ開催

レッドスパークスホッケー部員が講師として、1月13日(火)、14日(水)に広島市内の2つの小学校でホッケー一教室を行った。

1月13日(火)は荒神町小学校で5、6年生男女21名を対象に、グラウンドでホッケーのルールや道具の説明を行い、選手が実際にシュートの見本を見せたりもした。また、体育館では、室内でも楽しめるスーパーホッケーを行った。

1月14日(水)は瀬野小学校で6年生男女55名の子供達と一緒に、リフティング練習やシュート練習を、教室の最後にはドリブルリレーを行い生徒達はとても楽しんでいった。

新入団選手 9 人が大野寮に入寮



入寮した野間たち 9 人の新入団選

1月9日(金)、廿日市市の大野寮に新入団選手9人が入寮した。ドラフト1位・野間峻祥外野手は、エース前田健太投手らが使っていた「出世部屋」に割り当てられ「期待していただいていると思う。1年目からしっかりとやりたい。」と意欲を口にした。ドラフト2位・藪田和樹投手は、パンダのぬいぐるみを持参し「年末にUF0キャッチャーで手に入れました。動物好きなので、これを見て和みたい」と笑顔。昨年は右肩の故障で公式戦の出場はなかったが「現段階でもブルペンに入れる状態。1日も早く上でやりたいし、上を目指していく。」と回復に自信を見せた。新入団選手たちは、2月1日(日)から行われる春季キャンプに向け、体を作っていく。

2015 年シーズンへ向け自主トレ開始

1月6日(火)、広島市内で丸選手、広瀬選手、小窪選手との合同自主トレを行った。テニスを練習メニューに組み込んだ。3選手は、試合などをして汗を流した。練習後に丸選手が「見ている以上にきついです。野球よりしんどい。ふくらはぎが張るのはなかなかないですが、刺激を入れるのはありかな。」と別競技導入の効果的口にした。

1月10日(土)、鹿児島・薩摩川内市で一岡投手が巨人・杉内投手らと合同自主トレを行った。一岡投手が今季目標に掲げたのは、「防御率0点台」、「29試合連続無失点の球団記録更新」、「無敗」。この3つの“ゼロの誓い”を胸に1年間1軍セットアップパーとしてフル回転し、緒方カープを勝利に導く。

ニューイヤー駅伝 3年連続5位入賞

2015年元日に群馬県にて開催された「ニューイヤー駅伝」へ中国電力陸上競技部が出場し、3年連続となる5位入賞を果たした。「3位」の目標を掲げて出場した今大会、今期、駅伝初出場となる入社1年目の北魁道選手が1区で先頭から8秒差の6位と好スタートを切る。その勢いに続いて2区のインターナショナル区間を山崎亮平選手が快走し、ひとつしか順位を落とさず7位で3区石川卓哉選手へ襷を繋いだ。3区で5位まで順位を押し上げ、その後は4区岡本直己選手、5区出岐雄大選手、6区森本卓司選手、7区(最終区)藤森選手と全員が今ある力を発揮し、目標には及ばなかったものの5位入賞と健闘した。そして、特に目を引いた選手は北選手と山崎選手。近年中国電力陸上競技部が苦戦していた1区と2区を見事に走り抜けた。2選手とも成長著しく、今後の中国電力陸上競技部の顔として活躍を期待したい選手である。冬期はマラソン種目がメインになるが、その他ハーフマラソン、クロスカンントリー大会の種目があり、春のトラックシーズンに向けても期待が膨らむシーズンになりそうだ。



一区を走る北魁道選手

12/26~1/25 トップス広島 試合結果

広島メイプルレッズ

▽第39回日本ハンドボールリーグ

東区スポーツセンター

1/12 広島メイプルレッズ ●18-25○ オムロン

1/17 広島メイプルレッズ ○30-17● 三重バイオレットアイリス

JTサンダーズ

▽V・プレミアリーグ 2014/15

広島グリーンアリーナ

1/10 JTサンダーズ ●2-3○ サントリー

1/11 JTサンダーズ ○3-1● FC東京

《※広島で行われた試合のみを掲載しています。》



2015年 新たな歴史を刻むチャレンジの年に！ チームスローガン決定

2015年のチームのスローガンが「WE FIGHT TOGETHER 2015 結集」に決まった。森保監督の下、選手、スタッフ、フロント、サポーターの皆様、関係者の皆様、サンフレッチェ広島に関わる全ての人の力を結集し、1試合1試合の最善の準備とチャレンジャー精神を貫き、勝利を目指し全力で戦う決意を表している。スローガンの書は、昨年引き続き、日本の文化を世界に発信している世界の書家・紫舟さんとの「紫コラボレーション」が実現した。



新たなチームスローガン

2015年 始動！

2015年シーズンに向けた体制が決定。1月17日（土）、新加入選手発表記者会見が行われた。今年は5名の選手を獲得したが、その中でも新加入として期待されるのがMF工藤浩平選手だ。工藤選手は、得点に絡むプレーだけでなく、豊富な運動量による守備力も持ち味で、石原直樹選手、高萩洋次郎選手の穴を埋める活躍に注目が集まる。また、今年は2年ぶりのホーム開幕戦が決まり、エディオンスタジアムで3月7日（土）に、ヴァンフォーレ甲府を迎える。また、第2節は3月14日（土）松本山雅FCとアウェーで対戦する。今年も勝利をめざし戦ってほしい。なお、必勝祈願祭は1月24日（土）、一次キャンプは1月27日（火）～2月9日（月）に鹿児島で行われる予定だ。

新加入情報

新加入…	26/DF/川崎裕大	前所属 (流通経済大)
移籍加入…	9/FW/ドウグラス	(徳島ヴォルティス)
	15/MF/工藤浩平	(京都サンガ)
	19/DF/佐々木翔	(ヴァンフォーレ甲府)



新加入の五選手



日本リーグ 1部残留

12月28日（日）、東京都の国立代々木競技場第二体育館においてバドミントン日本リーグ2014の最終戦が行われ、広島ガスは七十七銀行と対戦した。第1ダブルス小池・桜井ペアは、第1ゲームを取り幸先のいいスタートをきったが、そのあとの2ゲームを取られ惜しくも敗れてしまう。続くシングルスでは、井上静華選手が接戦を制し、1対1の同点に持ち込んだ。第2ダブルス平井・亀田ペアは健闘果たせず敗れてしまい、日本リーグ2014の最終戦を勝利で飾ることができなかったが、最終成績は7位となり1部残留が決まった。来年の飛躍に期待したい。



ダブルス 試合中の様子



得点を決めガッツポーズ